

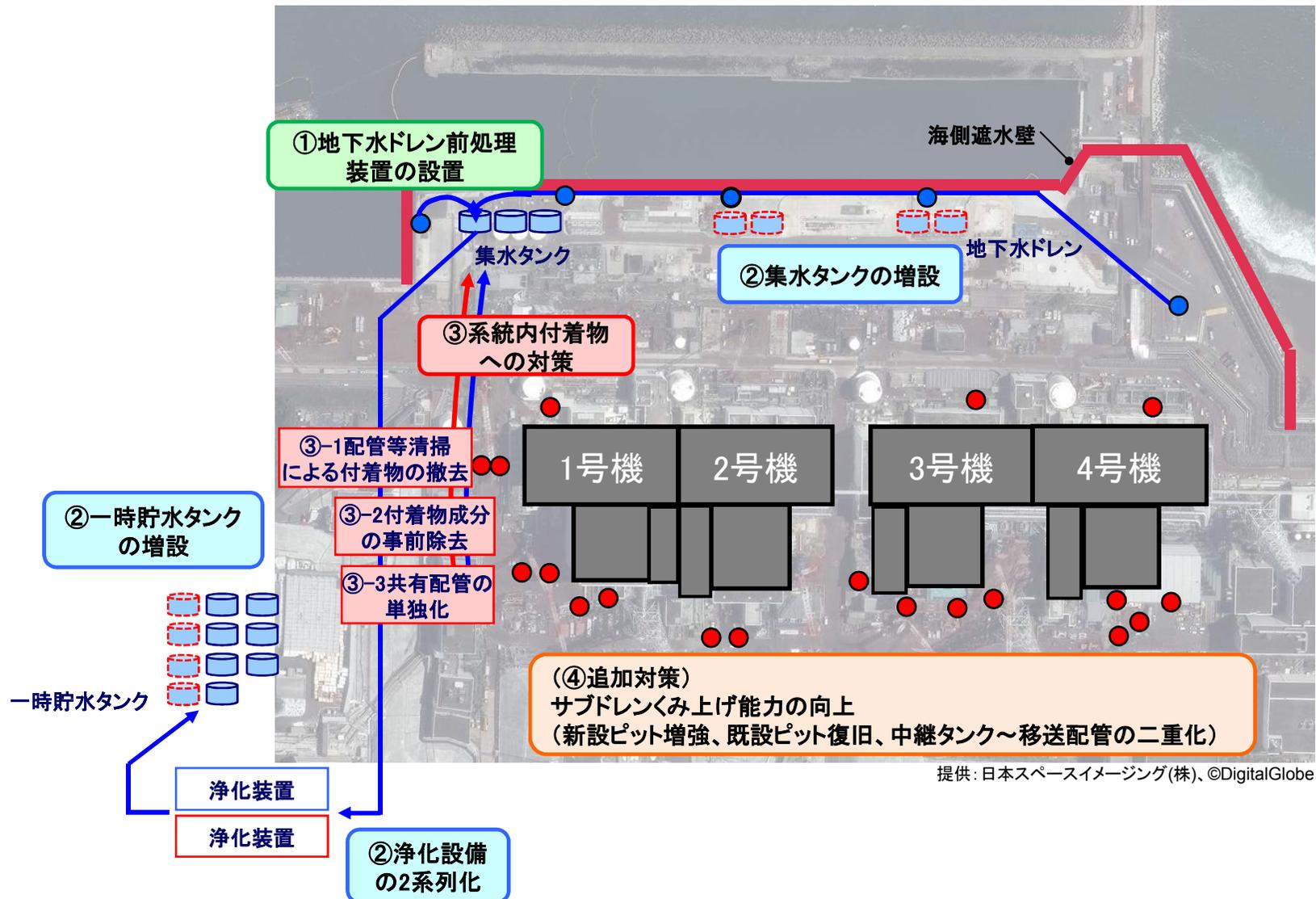
（２）汚染水対策に係る状況 サブドレン他強化対策

2017年2月7日

TEPCO

東京電力ホールディングス株式会社

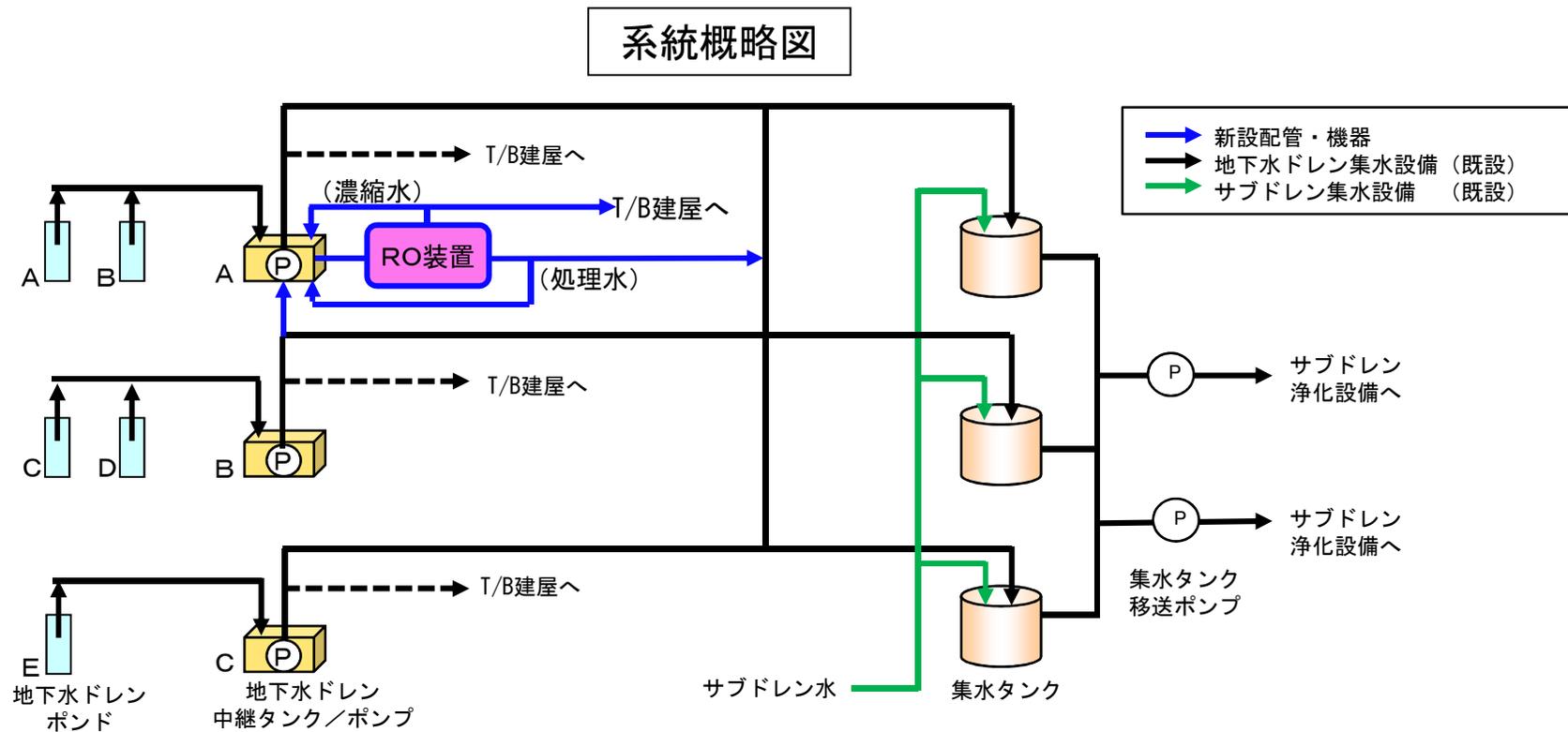
1-1. サブドレン他強化対策概要



提供：日本スペースイメージング(株)、©DigitalGlobe

1 - 2. 地下水ドレン前処理装置概要

- 4m盤の地下水ドレン集水設備により汲み上げた水の放射能濃度（トリチウム除く）が高い場合に、本装置（RO装置）にて処理を行い，放射能濃度を低下させることによってサブドレン他浄化設備での処理負荷を軽減させることを目的として設置。
 - 現在、タービン建屋へ全量移送中の中継タンクA（ポンドA，B）の移送量を低減。
 - 中継タンクB（ポンドC，D）の放射能濃度が上昇した場合でも，処理可能となるよう移送配管を設置。



2-1. 対策スケジュール

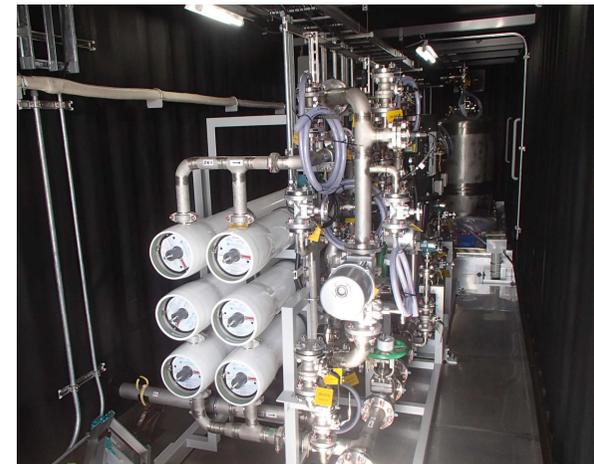
①地下水ドレン前処理装置の設置

- 地下水ドレンをタービン建屋へ移送する量を低減する目的で前処理装置を設置

月	2016年度		2017年度			
	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3
設置工事	■					
試験・使用前検査		■				
供用開始		▼ 1月30日開始				



【地下水ドレン前処理装置の設置状況（4m盤）】



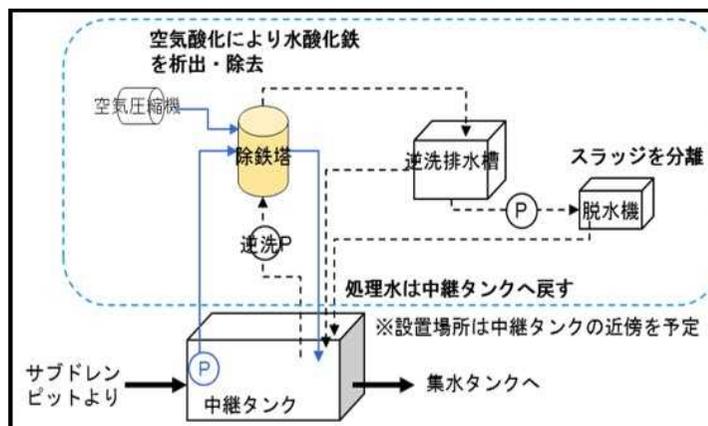
【コンテナ内部の状況】

2-5. 対策スケジュール

③-2付着物成分の事前除去

- ・サブドレン系統内配管閉塞の影響を緩和させる目的で付着物事前除去装置を設置

月	2016年度		2017年度				
	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	
設置工事			[Redacted]				
試験・使用前検査				[Redacted]			
供用開始 (設置完了した系統から順次開始)				[Redacted]			



【付着物事前除去装置（案）】

※ヤード調整等により
工期見直しの可能性あり

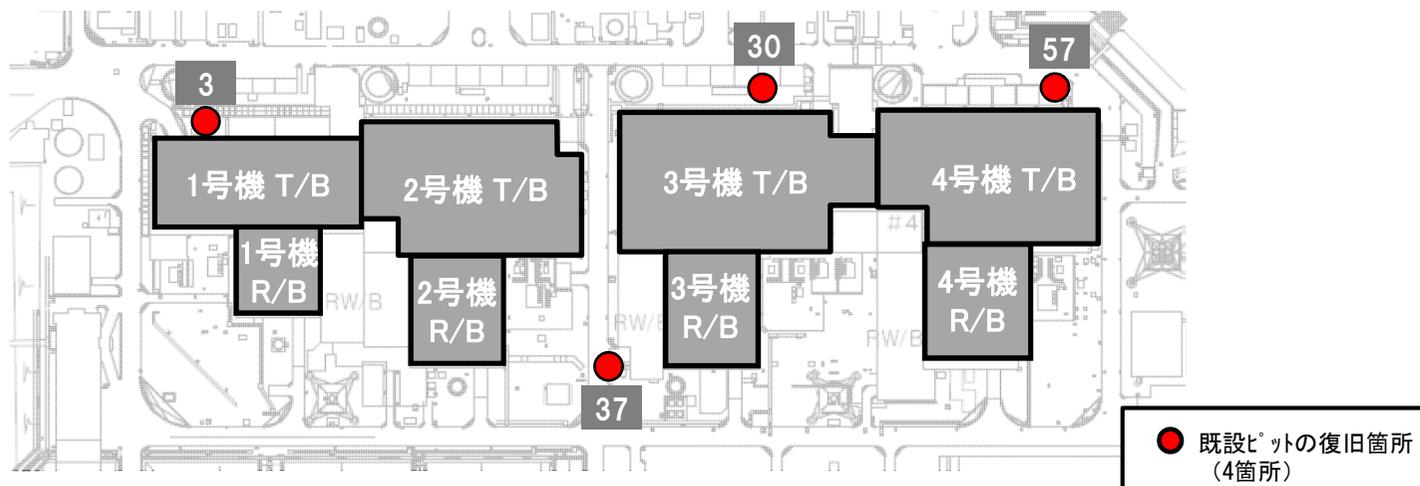
2-8. 対策スケジュール

④既設ピット復旧

- ・既設サブドレンピットを復旧することによる地下水汲み上げ能力の向上

月	2016年度		2017年度			
	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3
設置工事		■				
試験・使用前検査				■		
供用開始					■	

※ヤード調整等により
工期見直しの可能性あり



【復旧ピット配置図】

※ピット状況等により変更となる可能性あり

2-9. 対策スケジュール ④中継タンク～移送配管の二重化

- ・中継タンク～集水タンク間の移送配管二重化による信頼性向上

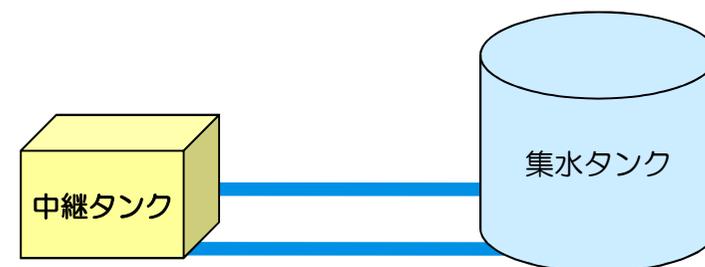
月	2016年度		2017年度			
	10～12	1～3	4～6	7～9	10～12	1～3
設置工事			■			
試験・使用前検査				■		
供用開始 (設置完了した系統から順次開始)				■		

※班体制の強化、ヤード調整等により
工期見直しの可能性あり



※現状、配管清掃時には仮設ラインを使用

【 現 状 】



※仮設ラインに代わり、本設配管を二重化
(二重化範囲や配管構成を検討中)

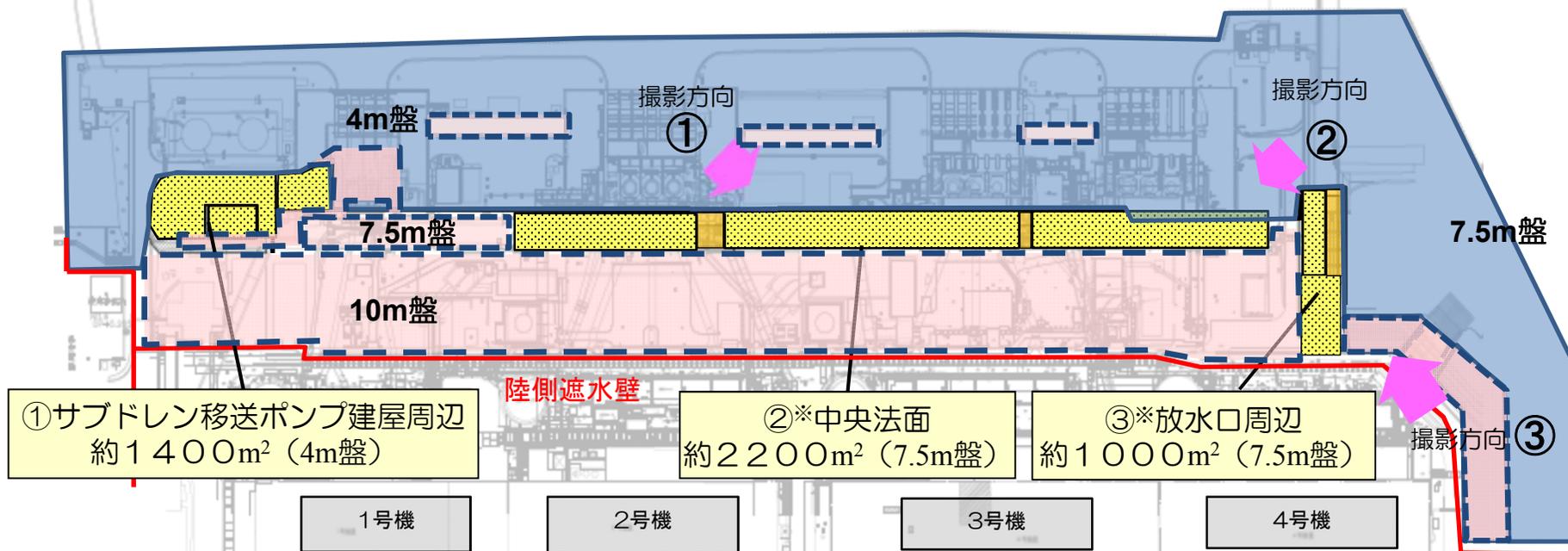
【 対策後 】

参考. 10m盤・7.5m盤・4m盤 フェーシングの実施状況

- ・フェーシング : 地表面をコンクリートやアスファルトで覆う。
- ・カバー・シート : 屋根やシートを設置する。

(凡例)

・フェーシング状況		・カバー／シート掛け状況(工事中エリア)	
	: 実施済み*		: 施工済み
	: 工事中		: 計画中



※②雨水浸透抑制効果算出のため、4m盤・10m盤と重複する面積分を減見直し ※③施工エリア見直しによる増見直し

参考. 工事中エリア（4m・7.5m盤）カバー・シート対策の進捗状況 **TEPCO**

	2016年度												進捗(2017.1.12現在)	
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
①サブドレン 移送ポンプ建 屋周辺 (4m盤)	■ 測量・資機材搬入		■	■	■	■	■	■	■	■				1,400㎡/1,400㎡ (100%)
②中央法面 (7.5m盤)	■ 測量・資機材搬入		■	■	■	■	■	■	■	■	■	■		2,110㎡/2,200㎡ (96%)
③放水口周辺 (7.5m盤)		■	■	■	■				■	■	■	■		800㎡/1000㎡ (80%)

■工事の進捗状況：カバー設置

2016.12.27撮影



① サブドレン移送ポンプ建屋周辺



② 法面



③ 放水口周辺

参考. 1～4号機海側フェーシング概要

- 1～4号機海側(10m盤陸側遮水壁から4m盤まで)の地盤への雨水浸透防止対策(フェーシングおよびカバー設置)の進捗

2017/1/12 現在

	エリア	全体面積(m ²)	施工済み面積(m ²)	進捗率	備考
実施中	7.5m盤(法面)	5,000 [※]	2,910 [※]	58%	屋根掛け工事完了時は進捗率64%となる。 3,200m ² (②2,200+③1,000)
	4m盤	40,000	38,400	96%	
合計		45,000	41,310	92%	

	エリア	対象面積(m ²)	備考
計画中	10m盤(道路含む)	20,000	対策計画中
	7.5m盤(水平投影面積)	1,800 [※]	対策計画中
	4m盤	1,600	対策計画中
合計		23,400	

※7.5m盤法面の範囲にかかるカバー・シートの水平投影面積を示す